

# とよなか 環境



ニュースレター

発行：NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21  
 編集責任者：奥野 享  
 事務局：豊中市環境情報サロン内  
 〒561-0804 豊中市曾根南町1-4-3  
 Tel:06-6863-8792 Fax:06-6863-8734

この号のハイライト

P.1 環境展のお知らせ/P.2 とよっぴー祭り/P.3 生活部会/P.4 自然部会/P.5 企画屋ウォーク/P.6 温暖化対策プロジェクト/P.7 とよなか市民環境会議/P.8 今後のスケジュール

2009年(平成21年)冬号 NO.29 (通巻第47号)

## ハイライト 今年の環境展

### 一番の呼び物は 子ども体験コーナー

地球温暖化や家庭での省エネについて楽しく学べる出展がいっぱい。大人の方にも十分参考になります。

2日目の12日には「自転車バランス王座決定戦」11時から行われ、狭い枠の中で自転車に乗りどれだけ足をつけずにがまんできるかを競います。

### 「とよか」がもらえる

昨年に続いて「省エネ相談会」も行います。参加すると「とよか」200ポイントがもらえます。できたら、電気・ガスなどの伝票を持って参加してください。「一日エコチェック」や、てんぷら油の残ったのを持ってきてバイオ燃料に提供するなども「とよか」がもらえる対象になっています。

エーゴとあるよ!

# とよなか市民環境展2009

## —25%! 未来を変える一歩に

地球は苦しんでいる!!!

12月11日(金)・12日(土) 両日とも10:00~16:00

**入場無料** 豊中市立市民会館 豊中市曾根東町3-7-1  
 阪急宝塚線「曾根」駅から徒歩約4分

●出展団体による展示・体験 ●子ども体験コーナー  
 ●おもしろ自転車の試乗 ●リユースコーナー  
 ●自然工作 ●省エネ相談会 ●電気自動車などのエコカー展示  
 ●スタンプラリー ●おもちゃ病院(12日10:00~12:00)  
 ●未来の森づくり体験(どんぐりの植え付け)(12日のみ)  
 ●たぷら油を使ったバイオエネ(セルロース系燃料)の展示(12日のみ)  
 (長い終わった天がら油を持ってきてください)  
 ●飲食コーナー(12日のみ) ●販売コーナー(12日のみ)  
 ●エコポイントチケット「とよか」がもらえる企画あり

主催 NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21  
 共催 とよなか市民環境会議・豊中市・豊中市教育委員会・豊中市立中央公民館  
 後援 環境省近畿地方環境事務所  
 お問い合わせはNPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21事務局 TEL06-6863-8792

同時開催イベント  
**私が取り組んでいるエコな活動発表・展示と交流**  
 11日(金)・12日(土) 10:00~16:00 展示(中央公民館)  
 11日(金) 10:00~11:30 井戸端会議  
 12日(土) 10:00~11:30 子ども遊も加わって井戸端会議  
 市民文化祭  
 12日(土) 13:00~17:00(市民会館大ホール)

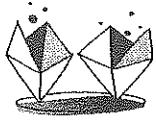
環境展2009を  
応援しています! 教自  
習動  
所車  
か  
Toyonaka

## エコカーの展示もいろいろ

天然ガス車や、シュレッダーを備え付けた機密書類処分用の車、テレビなどでも知られている電気自

動車などの展示もあります。

また、今回の環境展は中央公民館も共催し、「私に取り組んでいるエコな活動」などを話し合う「井戸端会議」風の交流会や、展示なども行われます。



## 食と農を学ぶ場、第4回とよっぴー祭り

### 花と緑のネットワークとよなか

ここ3年、恒例の行事となっている「とよっぴー祭り」を10月17日（土）、午前11時から午後2時まで豊中市緑と食品のリサイクルプラザにおいて盛大に開催しました。

同祭りは、堆肥化施設の存在を広く市民に宣伝し、あわせて生ごみが有効な資源として再利用できるこ



とを知っていただく機会として設定したものです。

4回目を数えた今年は難しい理屈は抜きにして、老若男女が楽しめる場として提供することを心がけて開催しました。

昨年は1千人を超える来場者で大いに賑わったことから、今年も来場を期待して7月から準備を開始しました。豊中市関係部局・市労働組合連合会・花いっぱい運動グループ・農業経営者協議会の有志・竹炭プロジェクト等が実行委員会に参加し、日頃のノウハウを活かした出展・出店で来客を競いあいました。

祭りの最大イベントは、サツマイモ収穫体験と餅つき大会で、芋掘りには約300組が挑戦されました。家族連れや夫婦で仲良く掘る姿は微笑ましく、幼児からは歓声があがり、収穫の醍醐味を味わっていただきました。ちょうど、芋掘りを始めた頃、一陣の降雨に見舞われ出足が鈍りましたが、それでも昨年に匹敵する1千人（実数）の市民が来場されました。餅つき大会用のお米は豊中産の新米です。3個100円での販売は飛ぶように売れ、子ども達だけの餅つきでは、慣れない杵をあげて餅をつき笑いを誘いました。

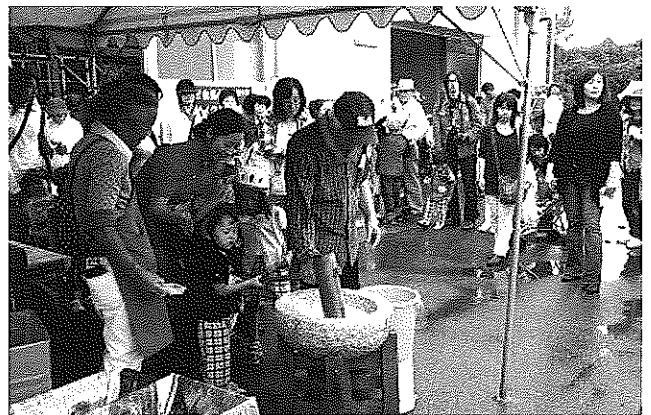
今回も地場産野菜や切り花を協力農家や連携する農家から提供をいただき完売しました。

また、水鉄砲や宝探し等の遊びや豊中の竹を使っ

た工作のコーナも人気を呼び、閉幕まで人が途切れませんでした。健康相談では看護師が懇切丁寧に相談に応じておられたのが印象的でした。

毎回多大な協力を得ている市の職員で構成する市労連の各組織からは、カレーライス・芋フライ・焼きそば・洋食焼きを開店。素材づくりに数日込めた出店もあり、購入者は舌鼓を打ちました。ただ、昼食時の思わぬ雨で若干売れ残る結果となったのは残念の一語です。雨がなければ完売したことは間違いありません。

いつも備蓄水を提供していただいている水道局からは給水タンク車が出動し、芋掘り後の手洗いを兼ねて災害時における応急給水の啓発を来場者に行っていました。



行事は回を重ねていくとマンネリになる傾向が一般的です。しかし、「とよっぴー祭り」は参加団体の創意と工夫もあり、新鮮な中にも「食と農」の大切さを改めて教訓化できる仕掛けをもった多彩な祭りとして成果をあげることができました。

テント（さわ病院）や機材等を提供していただいた団体、当日応援に駆けつけていただいた団体、さらにはボランティア等の人々に支えられて祭りが開催できたことを考えますと、人の輪の広がりを実感できた行事でした。（中村義世）

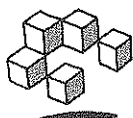
### 環境クイズ

「とよっぴー」は豊中市内の学校給食（37校）の調理くずや食べ残しなどで作っています

が、ではその給食の食べ残し、1日あたりいったい何kg？

① 約40kg ② 約400kg ③ 約4000kg

（こたえは8ページ）



生活部会

## 2010年のエコライフカレンダー

### スタイルも一新して

新しいカレンダーは、文字通りカレンダーらしく壁にかけて使えるように2カ月ごとのページにして、

日付の数字もうんと大きくしました。

表紙のデザインも一新。左の写真のように市松模様ですっきりしています。ページを飾る写真は、



「千里川辺り」という内容にし、野鳥の生きざまなどを大胆にとらえています。

環境家計簿としてもいっそう平易で使いやすいものになりました。まず月々のカレンダーには、電気・ガス・水道の平均的な使用量がどれくらいか、金額ではどの程度かがモニター平均を換算してのせています。日ごろの光熱水費の金額なら憶えている方も多いでしょうから、まず金額で同じ家族数のモニターの平均と比較できるのです。

そんなちょっとしたことから、どんな省エネ方法

があるのだろうと、気になったら「エコロジーはエコノミー」のコラムが各ページにあるので、それを参考にすることもできます。

さらに一歩踏み込んで、後ろのページにある一覧表に使用量を記入し、二酸化炭素排出量に換算するならガソリンなどより一層細かな比較ができます。別添えのハガキに使用量を書いて送ってもらえたら、次の年はあなたの家の使用量が統計的なデータとなってみんなの参考に供され、省エネに関心のある多くの方々の資料として役立つのです。

データの提出もよりシンプルにし、使用量だけの記入です。仲間を増やす絶好のチャンスです。

### 子どもと楽しんだ手作り講習会

10月3日に開いた手作り講習会は、身の回りの材料で子どもといっしょに楽しめるおもちゃ作りでした。講師はSA豊中の松本英良さん。

人気があったのは「ストロー飛行機」、ストローに丸い紙のリングを前後につけて、紙飛行機のようにすい〜っと飛ばします。その一風変わった姿かたちが飛行機のように風に乗るのです。そのほかに「カードトンプ」けん玉のようにして遊ぶ「環通し」など。親子3組7人が、環境情報サロンの2階を部屋いっぱいには跳ね回って楽しみました。(奥野)

### 街角に彩りを！ 花いっぱい運動広がる

花と緑のネットワークとよなか

9月26日(土)、「くらしかん」において大阪府立園芸高校の平井俊二先生をお招きし「街角を彩る美しい花壇づくりのポイント」と題する講演会を開催しました。同講演会は、花と緑のネットワークが2002年から「とよっぴー」を使って始めた「花いっぱい運動ネットワーク」(現在36団体が加盟)の総会・交流を兼ねたもので、当日は13団体43人(一般市民含む)が出席しました。



講演では、平井先生からヨーロッパの街を中心に誰もが挑戦できそうな花壇の事例を多数紹介され、その特徴と工夫のポイントを詳しく説明されました。とくに、ちょっとした空間でもアイデアさえあれば彩りのある花壇が可能と、説得力あるお話があり、日々花壇づくりをしている方には

大いに参考になりました。

「花を育てる」ことは、花の種まき、育苗、水遣りなど大変な苦勞が伴います。皆さんは、それぞれの地域で思い思いの花壇づくりをされており、育てている花や配列など千差万別ですが、花壇づくりを通じて「地域の潤いを高め」、「地域にコミュニティを育てる」思いも持って進めておられます。心無い(犬の糞やごみの散乱)行為も時たまあるものの、人と人との交流や会話が育つ成果があがっています。

平井先生は、単に花を育てることでなく、地域社会に何らかの影響を与える人の行為の事例といえ、持続を大切にして取り組んでくださいという励ましのお声をいただきました。(江藤なるみ)



自然部会

## 自然ふしぎ発見クラブ・むしの楽園で遊ぼう



今年3回目の自然ふしぎ発見クラブは、9月26日午前10時より服部緑地公園こもが池そばの草地で行われました。ここは自然学習ゾーンとして「服部緑地の自然を育てる会」の皆さんが管理手入れをしている場所です。

参加者は子ども13人、保護者10人の計23人でスタッフ6名がお手伝いをしました。

最初に講師の自然部会山口先生より、むしと自然環境やむしの捕り方について説明がありました。自然に近い状態に手入れされた草地にはたくさんのむ

しがいて、子どもも大人も捕虫網を振り回し走り回って捕まえていました。捕まえたむしは山口先生が順次同定していきましたが、バッタにイナゴ類が多く、他にカマキリ、コウロギその他の類で全部で16種が確認されました。

捕獲タイムのあとはジャンプ大会です。家族ごとのチームで捕まえたむしの中から代表選手を出して台の上から跳ばしますがなかなか跳ばず、特にカマキリはお尻を押しても殆ど転落。その中で優勝のショウリョウバッタ君は4m60cmを記録しました。大会後山口先生から台の上のせて飛ばすよりも空中に放り上げると良く飛ぶと教えられました。確かに良く飛びましたが遠くに行きすぎて計測不能で大会にはむりのようです。ただその途中放り上げた一匹のバッタは高く飛びましたが、突然飛来してきたヒヨドリに見事空中捕獲されてしまいました。ヒヨドリにはおいしい昼食だったと思いますが残酷な自然の法則を目のあたりにした一瞬でした。

当日は晴天で30℃を越える気温でしたが、池と大きな樹、草地の観察会だったので暑さは感じず全員楽しかったとの感想を頂きました。(佐々木忠弘)

## 秋の鳴く虫観察会に参加して

夕日が沈むと緑地公園は、昼間とはまた違った雰囲気につつまれる。樹上に住むアオマツムシの大合唱をきっかけに草原のあちこちから、足元の草地から、鳴く虫たちの声の競演が始まる。公園の東中央広場には捕虫網や籠を肩にかけた親子連れ参加者に混じって大人だけの参加者も多く見受けられる。講師の先生が“秋に鳴く虫”の音声テープを聞かせて下さった、その鳴き声を耳に残しながら全員回転花壇をめざして出発一。

今年は少し年齢の低い子どもたちが多く見受けられたが、みんな虫を捕まえるのに夢中になり、列がばらけて講師と離れてしまうこともしばしば。それでも湿地の面影を残す繁みでクツツムシ、スズムシ、マツムシの三種競演が始まると、



みんな声をひそめてしばし聞き入った(民家集落博物館右横)。この場所は毎年この三種の声を聴くことができるとか、下草を残した自然地の風情が大切なことが良くわかる。

虫取りの好きな子ども達はコオロギ、スズムシ、小さなシバズなども上手に捕獲してうれしそうだった。持ち帰って育ててみたい子は保護者と一緒に、環境が変わると育てにくい虫の飼い方の指導をうけた。終わりに今日、声と姿で出会えた虫たちの紹介があり、コオロギ科12種、キリギリス科7種・・・だった。鳴く虫に

囲まれて歩いた2時間は豊かな緑からの贈り物。市内の公園にも木立の中に下草や湿地の残せるような工夫を広げていきたいと思った。(桑島いつ枝)



企画屋本舗

## とよかを使ってエコショッピング

わがまち とよなか 再発見！！

ちょっといい豊中見つけに行こかウォーク

今回のウォークはこれまでとは趣向を変えた、エコポイントチケット「とよか」を使って、岡町界隈のお店を見て回り環境にやさしい買い物をするという体験型の企画でした。企画を練って広報とよなかに募集をかけたところ、いつもはある程度応募があるのですが、今回は極端に応募が少なく、その要因についてあれこれ考えて見たものの、結局結論は出ずにとにかく当日は自分も参加者になることとしました。

まずは、集合場所のリサイクル交流センターで井上副理事長より趣旨説明があり省エネ相談と住宅相談の両方のアンケートに回答しました。結果はさておき、この2つの相談に参加したこと+省エネ効果が期待できるイベント参加と言うことで合計600ポイントの「とよか」をいただきました。いただいた「とよか」に対し何を買おうかというワクワク感と省エネについての責任を少し感じつつ、省エネ相談のアンケートにもあった付けばなしにしているテレビを見ていないときはこまめに消そうと心に決め岡町の商店街に出発しました。リサイクル交流センターを出て萩の寺から細く何度も折れ曲がった道〈通称7曲がり〉を通る道



中は地元詳しい松本健治さんに案内して頂きのんびりとしたまちあるきを楽しむことができました。そしていよいよ商店街に到着し買い物のはじまりです。不要な物を買わないのがエコの原則ですので必要な物で環境に優しい物と考えると意外と難しく日頃いかに何も考えずに買い物をしているかがよくわかりました。

そんな中、電気屋さんの店頭に置いてあったLED電球が目にとまり、これこそ省エネと店員さんにあれこれ教えてもらい値段を聞いてみると3000円以上。

かなりの予算オーバー。考えた末の結論は自宅一度試しに使用してみたいと思う気持ちはあるものの、10年近く使えるということで「試し」というにはちょっと抵抗があることと、600円の予算に対し高額すぎてバランスが悪い事を理由に購入見送りとなりました。  
(店員さんごめんなさい)

最終的にはかまぼこさんで

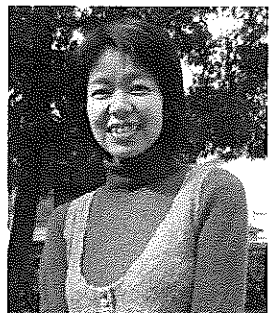
「古くなったてんぷら油はリサイクルにまわしてるよ！」の一言でかまぼこ購入。(リサイクルは当然ですが(^\_^)) 買い物後は福祉会館にて「とよか」を使った感想を含めた発表会を行い、それぞれの違った視点での意見を聞いてなるほどと感心しながら最後は再び井上副理事長のまとめで終了となりました。参加してみて大変楽しい企画でした。  
(中井健之)

## 環境とわたし

《23》

上村有里さん

赤ちゃんからのESD代表

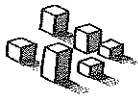


会社勤めをしていた頃から興味を持っていた環境問題。子どもを出産してから、尚一層子どもたちの明るい未来のために、地球環境を持続可能なものになくしては・・と考えるようになりました。ところが、当時「環境活動」と言えば、熱心な人だけががんばっているもの、というイメージが強かったわけです。よし！それなら、専門的な情報をわかりやすく解釈し、身近なとりくみで「環境活動」を楽しくPRしていこう！と考えたのが、わたしの環境活動への第一歩でした。

その後、ESD(持続可能な開発のための教育)に

関わることになり、さまざまな世代、分野、地域の方々と持続可能な地域づくりのための学び合いを行っています。

その中で、私が大切にしたいのは「人と人とのつながりづくり」。地球規模の問題も、もとをたどれば、人と人。たくさんの先輩方から、貴重な経験を伝えてもらいつつ、子どもたちの視点で考えることも忘れずに、これからも多様な立場で考え行動できる仲間を増やしていきたいと思っています。



## 家庭の省エネを後押し「省エネ相談会・省エネ診断」

### 地球温暖化プロジェクト

地球温暖化防止のために、より多くの方が具体的に省エネに取り組めるように後押しをする事業を、豊中市ととよなか市民環境会議アジェンダ21とが協働で進めています。

「省エネ相談会」は、街頭やイベント会場などで、その場にいられた方に呼びかけて、簡単なエコライフチェックをしてもらい、その内容をもとにまちの電気屋さんや工務店の方が省エネについてアドバイスしたり、相談のつてくれるというものです。



第1回目の6月5日には、岡町・桜塚商店街の「初金市」の抽選会場横で開催し、その様子はNHKのニュースでも放映されました。その後、コープの店頭や新千里西町・東町・庄内・曾根の商店街でのお祭り、庄内・千里の公民館でのイベントなど11月までに11回開催し、

のべ650人の参加がありました。当初は、お祭りやイベントを楽しもうとして来られた方が、「省エネ相談会」という一見難しそうなものに参加してくれるか心配しましたが、やはりいろんな場面で「省エネ」という言葉を聞くこともあるのか、多くの方が気軽に参加してくれていました。

さらに「何かできそうだけど、自宅のどこから手をつけようか」といったことや、「新しい製品に買い替えたいものもあるし、別の製品も使い続ける上で工夫できれば」などの家庭での具体的なアドバイスがほしいという場合もあります。そんなときには、自宅の電化製品の状況に合わせて省エネができるよう、豊中市に登録したまちの電気屋さん「省エネマイスター」が家庭へ訪問する「省エネ診断」も実施しており、これまでに28軒が診断を受けました。まちの電気屋さんは、こまめに家庭を訪問する電化製品のホームドクターのような役割が特徴なので、買い替えだけでなく、製品の置き方、使い方などもアドバイスしてくれます。

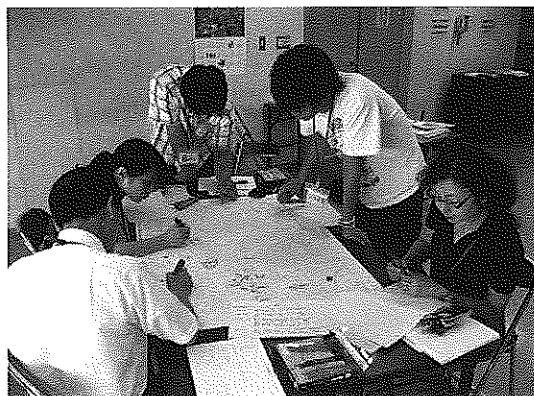
診断は無料のうえ、豊中市内の商店街等で使えるエコポイントチケット「とよか」（商品券）も進呈していますので、是非一度訪問してもらってはいかがでしょうか。申し込みは12月18日（金）まで受け付けています。（井上和彦）

## 第2次豊中アジェンダ21・環境基本計画づくりのためのワークショップ開催

第2次豊中アジェンダ21と豊中市環境基本計画をつくるのに、広く市民が参加する場として、立命館大学の永橋為介准教授の指導を受け、市民ワークショップを開催しています。

計画をつくるには、将来どんな豊中になることが望ましいかという「将来像」を描くことが大切です。今年度前半の市民ワークショップでは、まずその将来像を考えることから始めました。いろんな立場の方に参加していただけるよう、市内のいろんな場所、曜日、時間帯で7回開催しました。

内容は毎回ほぼ同じで、最初に現状を確認しあうため、豊中市の「良いところ」と「気になるところ」

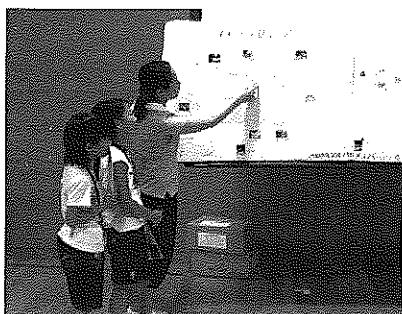


を出し合い、豊中市の地図に書き込みます。地図を使うのは、豊中市のどこの状況なのかを把握するためです。その後、それをもとに「豊中の環境の将来像」を各自で自由に描き、再度出し合いました。

7回目は、例年開催している「環境フォーラム」にあわせ、その際に公表される豊中市の環境報告書をもとに環境の現状を確認し、その後それまでの6回分の意見をまとめた模造紙を見ながら、意見を追加していくワークショップを行いました。

今後は、その将来像を実現するために具体的にどんな取り組みを行うのか考えていくようなワークショップを行う予定です。（井上和彦）

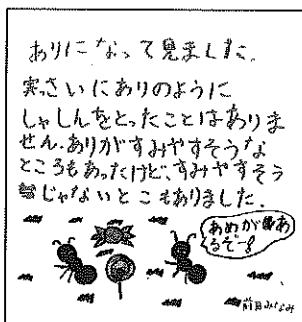
# 「こどもワークショップ」開催しました



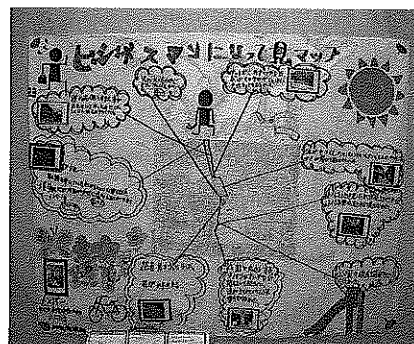
「第2次豊中市環境基本計画」及び「第2次豊中アジェンダ21」の策定に向けて、こどもワークショップを開催しました。

次代を担うこどもたちが望む「未来の豊中」や「豊中の環境像」、「まちに対するニーズ」を把握し計画に反映します。大滝あやさん(環境教育事務所 Tao 舎 代表)・川島憲志さんを講師に迎え、7月23日(庄内)、10月24日(千里)・25日(曾根)で実施し、3日間で計84人(こども61人、大人23人)が参加しました。

「木」や「水」、「宇宙人」や「なにわのおばちゃん」など、様々なものになって街を歩きながら、発見や気づきを「〇〇になって見マップ」と「〇〇になって見ました絵」としてまとめました。みんなで協力しながら、「豊中のまち」や「環境」についてそれぞれ考えながらも、楽しい雰囲気の中終える事が出来ました。



〈〇〇になって見ました絵〉



〈〇〇になって見マップ〉



## ESDセミナー開催しました!

### エコライフ連続セミナー 「食」から地域・世界とつながろう (全4回)

持続可能な地域づくりの担い手育成をめざして、2008年度から始まったESDセミナー。2009年度は、ESDをより多くの人に広げていくため、昨年度のセミナー受講生を中心に企画会を設けてアイデアを出し合い、身近な「食べ物」をテーマに環境問題や世界とのつながりを学ぶセミナーを開催しました。

セミナーの詳細内容は、「ESDリソースセンターとよなか」  
<http://esdtoyonaka.net/> からご覧ください。



〈とよっぴーを使った堆肥づくり講習〉



〈セミナーを振り返って、  
これからのアクションを考え中〉

- <第1回 9月30日>  
・エコクッキング (講師: きっちゃんすまいる 横地多実子さん)
- <第2回 10月7日>  
: 堆肥づくりを通して広がる世界  
(講師: NPO 法人花と緑のネットワークとよなか 高島邦子さん)
- <第3回 10月21日>  
・森を守るフェアトレードコーヒー  
(講師: (株)ウィンドファーム 日下部伸行さん)
- <第4回 10月28日>  
・とよなかでエコアクションをはじめよう!  
(コーディネーター: 赤ちゃんからのESD 上村有里さん)

セミナーの学びを広げるため、セミナー受講生による「学びの場づくり」を企画中です。

## スケジュールのお知らせ

### 🍵 竹炭焼き、竹きり (12月~3月)

毎月実施します。 9時~12時  
千里中央公園他 詳しくは事務局まで

### 🍵 おもちや病院 (12月、2月)

第2土曜日 10時~12時  
12月は市民会館、2月は環境情報サロン

### 🍵 とよっぴー有料頒布 (2月~3月)

第2土曜日&第4水曜日 10時~11時  
緑と食品のリサイクルプラザ  
12月、1月の頒布はお休みします。

### 🍵 冬鳥観察会

2月6日(土) 9時30~12時  
服部緑地東中央広場集合  
水鳥、陸鳥の観察

### 🍵 地産地消イベント (12月~3月)

第2水曜日 10時~12時  
くらしかん生活情報ひろば  
竹炭・竹酢液、とよっぴーで育てた野菜頒布

### 🍵 エコライフカレンダーできました

12月11日から配布します  
事務局、図書館、環境政策室ほかにあります

## 編集室から

▼今年の最終号も校了。ホッとしたところで1年を振り返る。で、私の日常と趣味をクイズではないが動詞で並べてみた。解く、叩く、読む、描く、観る、踊る、歩く、煮る、呑む、洗たく機を回す。始の2つはPに關係。結構楽しんで1年を過ごしたなあ。(Z)

▼数年前、知人から鳥の形をした可愛いゴムべらをいただきました。ボールやお鍋、お皿など、まずこれで掃除するとおおかたの汚れが取り除けて、ずいぶん食器洗いが楽になりました。お水やせっけんも節約できるし、ほんとに大助かりです。(Y)

▼私はお手洗いの電気の消忘れとウォシュレットの蓋の閉め忘れで、義母・家内から人には言っておきながら守らない!と大げさに叩かれた。私からみると本人さん達も結構忘れてるが、ハイハイ気を付けます、と言いつ返しはしない。これは省エネに興味を示している証拠ですからね。(S)

▼雪やこんこ〜♪ということで、寒いのが大の苦手な私ですが、何年か前に大雪が降った時は近所に住む小

学生よりも先に雪で遊んでしまいました。今でも雪が降るとテンションが上がります。今年は雪降らないのかなあ?(KS)

▼実家がリフォームすることになりました。エコ住宅の普及も進められようとしていますが、いろんな種類の業者が分担しながら関わることになり、費用との兼ね合いもあって今の段階ではなかなか難しい面も多いですね。(J)

▼ごみの分別が苦手な長男。部屋にはペットボトルがゴロゴロしているし、洗濯物をまとめてドサッと出す癖がある。来春社会人になるのを機にひとり暮らしを夢見ているらしい。大丈夫かな? 親離れして欲しい反面ちょっとだけさみしいな。(P)

### 環境クイズの答 ②約400kg

但しこれには週3回のパンの食べ残しは含まれていません。パンを含めると、1日にこの倍近くの量の給食を子どもたちは食べ残していることとなります。

《広報チーム》

Z奥野、H岡、Y小村、S猪尾、KS長橋、J井上、P大村

### 環境展ワンコインカンパのお願い

豊中市最大の環境イベントですが  
運営費用が不足しています

みんなで環境展を応援してください。

カンパ額 個人1口 500円~

団体1口 3000円~

詳しくはHP、事務局まで。

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>  
Eメール [ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp](mailto:ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp)